

集まろう 10万人!

再稼働絶対反対!
全原発をなくそう!
野田政権ゆるすまじ!

世論調査によれば、82%の人が「全原発の廃炉」を求めています(6/19東京新聞)。ところが野田政権は6月8日、大飯原発再稼働の決定を強行しました。首相は「政府の安全判断の基準は暫定的」としながらも、「福島を襲ったような地震・津波が起こっても、事故を防止できる対策と体制は整っている」「すべての電源が失われるような事態が起こっても、炉心損傷に至らない」と強弁しました。福島の教訓は、“原発に絶対安全はありえない”ということだったはずです。

さらに首相は、「福島のみなさんの複雑な気持ちは理解できる…しかし、人びとの日常の暮らしを守る責任を放棄することはできない」とまで言いました。とんでもない暴言です(原発電力のない東京でさえ夏の電力は足りてる!)。福島の人びとは「国民」ではないのか? 今もなお原発事故で16万人が避難生活を強いられ、子どもたちの健康と命が日々侵され続けているのに、その責任はないと言うのでしょうか!

いま、野田政権に対する反撃が全国各地でまきおこっています。6月22日夕には4万5千人が首相官邸前に集まりました。17日には福井県庁前に2200人、オスプレイ配備阻止で宜野湾市民大会に5200人。絶対に許さない、必ず阻止するんだという思いであふれています。

7月16日、東京・代々木公園で「さようなら原発1000万人市民の会」(内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔)が呼びかける「さようなら原発10万人集会」が開催されます。再稼働阻止、全原発廃炉のために、みんなで10万人を集めましょう!



メインステージ 12:30 ~ オープニングコンサート
13:00 ~ メイン集会 (14:00まで)
13:30 ~ パレード出発 (解散地点:明治公園、ほか)
サブステージ 11:00 ~ 15:30ごろまで
※11:00ごろから脱原発・エネルギー関係のブースが出ます。

さようなら原発10万人集会 7月16日(月・休)

東京・代々木公園 サッカー場、イベント広場、ケヤキ並木
主催: さようなら原発1000万人アクション実行委員会 <http://sayonara-nukes.org/>



プロペラが地面にぶつかる

オスプレイが飛行機モード(プロペラが前に向く)の際に故障などで着陸しなければならない場合、胴体より大きいプロペラが地面に接触してはじけ飛んでしまう。住宅街付近で着陸した場合、住民を巨大な刃物が襲うことになる。

オスプレイ阻止!

オスプレイとは?

回転翼の角度が変わる垂直離着陸機。ヘリコプターの2倍の速度で飛行し、1000 ㌦以上を航行できる(補助タンク使用時は3500 ㌦)。海兵隊を一度に24人乗せて戦地に運べる強襲揚陸機。しかし墜落の危険度が非常に高く、開発段階で4回墜落、計30人が死亡した。今年4月11日にはモロッコで墜落、4人が死傷。さらに6月13日には米フロリダ州で訓練中に墜落、5人が負傷した。



6月17日、オスプレイ配備に反対し、普天間基地の撤去を求める宜野湾市民大会が開かれ、5200人が集まった

普天間基地撤去!

沖縄からすべての基地をなくそう!

日米両政府は、米軍の新型輸送機 MV22 オスプレイ 12機(最終的には24機)を、8月にも沖縄県の普天間基地に配備しようとしています。さらに、「10年近くの大プロジェクト」という、普天間基地の大規模な補修工事も予定しています。これは、基地返還を反故にし、戦争のために普天間基地を固定化・強化するものであり、絶対に許せません!

世界大恐慌が進む中、アメリカ政府は、アジア・太平洋に戦争の重心をおく「新軍事戦略」に転換しました。北朝鮮や中国への戦争を想定して、空と海

から無差別的な攻撃をする「エア・シーバトル構想」も打ち出しました。そのために、沖縄米軍基地を強化し、自衛隊との軍事一体化を強めるとしています。日本政府もこれに呼応し、PAC3 配備など自衛隊の南西諸島拠点化を推し進めています。

面積は日本全体の0.6%にすぎない沖縄に、在日米軍基地の74%が集中しています。土地に占める基地面積の密度は、沖縄は本土の500倍。沖縄—本土の労働者市民の団結した闘いで、今こそ沖縄から基地をなくしましょう!

反原発・反改憲!

とめよう戦争への道! 百万人署名運動

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-20-7-303
TEL&FAX.03-5211-5415 million@mqc.biglobe.ne.jp